

旧若葉台西中学校跡地の新たな活用に向けて サウンディング型市場調査を実施します

横浜市では、旭区にある若葉台団地の活性化を推進しており、団地内にある旧若葉台西中学校の跡地活用について検討を進めています。当該団地は、総務省が実施する「地域課題解決のためのスマートシティ推進事業」の社会実装に向けての取組やWHO WPRO（世界保健機関 西太平洋地域）で紹介される等、多岐にわたって活動が注目されています。

旧若葉台西中学校の跡地活用といった若葉台地区の取組については、今後、市内にも多く存在する大規模団地再生のモデルとして広がっていくことが期待されています。そこで、事業者の皆さまとの「対話」を通じて、活用アイデアを広くお聞きする「サウンディング型市場調査」を実施します。今後の跡地活用を検討する際の参考とするため、本調査に参加いただける事業者を広く募集します。

1 旧若葉台西中学校の概要

所在地	横浜市旭区若葉台四丁目 34-1	
交通アクセス	JR横浜線「十日市場」駅からバスで約12分 「長津田南」バス停下車徒歩1分	
地目・地積	宅地（公簿）・26,833㎡（公簿）	
土地面積	約26,833㎡	
校舎棟	構造	鉄筋コンクリート造3階建
	延床面積	約5,053㎡
	竣工	昭和59年
体育館 格技場	構造	鉄骨造2階建て
	延床面積	約1,166㎡
	竣工	昭和59年
都市計画による 制限	用途地域	第一種中高層住居専用地域 (建ぺい率：60% 容積率：150%)
	高度地区	第三種高度地区
その他	若葉台一団地の住宅施設 新治・三保風致地区	

◆若葉台団地について

旭区の若葉台に位置する若葉台団地は、自然とふれあうコミュニティ都市をスローガンに計画的に整備され、昭和54年の入居開始から40年余りを経てコミュニティも成熟しています。地域活動がまちぐるみで行われ、住民主導のエリアマネジメントが展開されています。しかしながら、人口は平成4年の約2万人をピークに減少し、令和元年に高齢化率が5割を超え、それに伴う課題が予見されています。

2 サウンディング（対話）の実施概要

- (1) 対象者：旧若葉台西中学校の活用事業に関心のある法人又は法人のグループ等
 - (2) 対話内容：主たる事業内容、地域ニーズに対応する提案及び地域防災拠点としての指定等
 - (3) 日時：令和6年9月9日（月）から令和6年9月13日（金）まで
 - (4) 場所：横浜市庁舎及び旭区役所 会議室
 - (5) 実施方法：直接対話（1事業者あたり1時間以内を想定）
※アイデア及びノウハウの保護のため、対話は個別に行います。
 - (6) 申込方法 実施要領に掲載（下記 URL 参照）
 - (7) 申込締切 令和6年8月2日（金）午後5時まで
- ※サウンディング（対話）実施前にヒアリングシートを提出していただきます。

※申込方法や対話内容等の詳細は、旭区役所ホームページに掲載する実施要領を御参照ください。

https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/kurashi/machizukuri_kankyo/machizukuri/0708r6wak_abadaisd.html



お問合せ先		
旭区区政推進課長	西澤 美穂	Tel 045-954-6025